

絆きずな 23号

平成29年2月16日

発行責任者：吉竹一泰

文責：細見初太郎

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

いつかは私が支える側に (中学生15歳 加西市)

私は受験生です。今になって思うのは仲間の大切さです。中学1、2年生の時、スマホ依存症でした。自分ではとめられないくらいの重症でした。

だから私は正直、自分が受験生になった時が不安で心配していました。そして今、受験生という立場になりスマホ依存症はなくなりました。それは、同級生がだんだんとスマホを放置するようになり、私も頑張ろうと思ったからです。

学校には仲間がいて、お互いを支え合い助け合う力があると思いました。もし仲間がいなくて私一人で頑張るとなるとスマホ依存症をやめられていなかったと思います。仲間がいてくれる意味がわかったように思います。

いつも支えられてばかりなので、いつかこの学年の仲間を支えたり何か力になれたりするように日々、成長して頑張っていきたいと思います。

「神戸新聞 若者BOX席」より

1年生

- ☆「スマホ依存症」は1人ではなかなかやめられないと思います。だから、自分の周りにいる家族や友だちの力が必要なんだと思います。これからは、助け合える仲間を大切にしようと思いました。
- ☆依存症はやめるのはとても苦労すると思います。一度依存してしまうと自分の力だけでなくするのは難しいでしょう。しかし、「仲間の支えによって依存症がなくなった」ということは、自分のことを大切に思ってくれていることだと思います。困った時に助けてくれる仲間がいるということは幸せなことだと思います。
- ☆自分で誰かに助けられたとか、支えられたと気づくのはすごく良いことだと思います。そして、それを自分がみんなにしていこうと思うことも良いことだと思います。
- ☆自分が依存症になると自分では止められない。だからこそ、仲間に助けられた大切さがわかると思います。スマホで遊びたいのは皆一緒に、自分一人だけじゃないと思います。仲間がいて、「皆、辛いんだから、ここで自分がスマホの誘惑に負けたらあかん」という気持ちになると思いました。自分一人で解決できないときは一人で悩まず、仲間に相談することが大切だと思いました。
- ☆私もあまりスマホを使いすぎないようにしようと思いました。仲間がいたら頑張ろうと思えるから仲間の力は大きいなと思います。私もいつかは支える側になれるように頑張りたいです。

2年生

- ☆仲間の存在はこれからの人生で常に必要で、仲間がいなければ超えられないことがたくさんあると思います。支え合い、助け合い、気づかせ合える仲間がいることは幸せでかけがえのないものだと感じました。いつかは仲間を支えることもできるように頑張っていきたいと思いました。
- ☆一人で何かを解決するのは、とても難しいと思います。そんな時に支えてくれる仲間、家族がいれば頑張れると思います。だから、悩んでいる人がいれば支えてあげられる人になりたいです。
- ☆「仲間」がいることで、辛いことも乗り越えられるんだとわかりました。私たちも4月に3年生になって受験に近づいていくけれど、3年生までなれたのもクラスみんなのおかげだと思うので感謝したいです。

